学校番号	302

平成 31 年度　音楽

教科	音楽	科目	音楽理論Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等	楽典　理論と実習（音楽之友社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次での学習を基本に、引き続き基礎的な楽典、楽式を学習する。
・３年間の学習内容を全て習得すれば全国の音楽大学入試に対応できる。そして理論を音楽表現に生かしてほしい。

2　学習の到達目標

音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに，表現と鑑賞に活用する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽に関する基礎的な理論を理解することで、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。	音楽に関する基礎的な理論を理解することで、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽に関する基礎的な理論を理解することで、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点			題材の評価規準	評価方法
			a	c	d		
前期	音階の活用	音階	○	○		a:音階について理解しようとしている。 c:音階の考え方を活用する技能を身に付けている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察 定期テスト
		移調	○	○	○	a:移調の考え方について理解しようとしている。 c:移調を活用する技能を身に付けている。 d:音楽理論を音楽作品と関連させて理解している。	
		調判定	○	○	○	a:調判定の仕組みについて理解しようとしている。 c:調判定を活用する技能を身に付けている。 d:音楽理論を音楽作品と関連させて理解している。	
後期	和音	和音	○	○		a:和音の考え方について理解しようとしている。 c:和音の考え方を活用する技能を身に付けている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察 定期テスト